

第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞、いま最も熱い期待を一身に集めるチェリスト！

# 笹沼樹

TATSUKI SASANUMA J.S.BACH: CELLO SUITES

## J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲

静謐なる光輝、深淵なる鼓動……

2022年

# 12

月 2 日 (金)

18:00開演(17:00開場)

※休憩2回、21:00終演予定

## 東京オペラシティコンサートホール

チケット(全席指定・消費税込)

S席:4,000円 / A席:3,000円 / B席:2,000円

[チケット取扱い]

▶コンサートイマジン 03-3235-3777 (10:00~18:00/日祝休)

HPより24時間受付、座席指定可 <http://www.concert.co.jp>

▶東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (10:00~18:00/月休)

▶チケットぴあ <https://t.pia.jp/>【Pコード:219-958】

▶e+(イープラス) <http://eplus.jp/> ※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。





## 笹沼 樹 (チェロ) Tatsuki Sasanuma, Cello

いま最も大きな注目を集めるチェリスト。

2022年第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

第65回ARDミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門にて第3位、委嘱新作特別賞を受賞。2019年にはニューヨークのYoung Concert Artists International Auditionで弦楽四重奏として第1位を受賞。第65回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位及び日本放送協会賞受賞。第12回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。第83回日本音楽コンクールチェロ部門入選。室内楽奏者としても横浜国際音楽コンクール第1位並びにグランプリ、ルーマニア国際音楽コンクール第1位、ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位、第22回ホテルオークラ音楽賞、松尾財団松尾音楽助成、霧島国際音楽祭賞、堤剛音楽監督賞、リゾナーレ室内楽セミナー奨励賞など受賞多数。

Music Alp、北九州国際音楽祭、十勝音楽祭、赤穂 le pont 音楽祭、Melbourne Cello Festival、Piatigolsky International Cello Festival、宮崎国際音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭等に出演。2010年より霧島国際音楽祭に参加。

これまでにマルタ・アルゲリッチ、ミッシェル・マイスキー、マキシム・ヴェンゲーロフ、イヴリー・ギトリス、ダン・タイ・ソン、2CELLOS各氏らと共演。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団等と共演。

カルテット・アマービレ、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバー。

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)チェロ科を首席卒業。桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科卒業。卒業時には学習院大学文化活動賞を受賞した。同校で2017年6月に天皇皇后両陛下をお迎えしての天覧公演となったリサイタルシリーズは毎年開催されている。2019年1月にはデビューCD『親愛の言葉』(日本コロムビアレコード芸術特選盤)をリリース。大きな話題となる。

桐朋学園大学大学院修了。NHK交響楽団アカデミー生を修了。桐朋学園チェロアンサンブル・サイトウ奨学生、ヤマハ音楽奨学生、ロームミュージックファンデーション奨学生。CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。

チェロを、ヴァーツラフ・アダミーラ、古川展生の各氏に、現在堤剛氏に師事。使用楽器は1771年製 C.F.Landolfi(宗次コレクション)。



# Sasanuma Plays J.S.Bach

「バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会によせて」 ————— 笹沼 樹

バッハの『無伴奏チェロ組曲』は、たとえばベートーヴェンの9つの交響曲や32曲のソナタと同様、音楽史上に燦然と輝く金字塔であり、チェリストとして登ってみたい大きな山でもあります。6つの組曲から1曲のみを取り上げて演奏するのも面白いですが、6曲をまとめて演奏することで、それぞれの組曲の調性感や舞曲の性格のコントラストを噛み締め、より大きな発見を繰り返しながら山頂を目指すことができると考えています。とはいえ、1回のコンサートでの全曲演奏は私にとってまだまだ未知の領域。全曲を弾ききるまでにはどんなことが待ち構えているのでしょうか。きっとくじけそうになる瞬間もあると思いますが、達成したときにどんな景色が見えるのか、今から本当に楽しみです。

2020年春から世界を不安で覆い尽くしたコロナ禍。隔離生活の中で音楽家としての自分の無力さを感じたとき、バッハの『無伴奏』を毎晩1曲ずつ弾き、SNSで公開していました。それに対して反響を寄せてくださる方もいて、「自分は独りじゃないんだ」と実感することができました。そこから3年弱を経た2022年初冬。社会の状況も変わって、今度は会場でお客さんと直接お会いし、そして音楽を共有できるということがとても嬉しいです。この取り組みが、自分にとってまた次のステップへと進んでいく象徴としてのコンサートになったらいいなと思っています。

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いいたします。

ご来場の際は、マスク着用、咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いいたします。  
その他、ご来場のお客様へのお願いをHPに掲載しております。ご来場の際には必ずお読みください。  
<http://www.concert.co.jp/news/detail/1291/>

